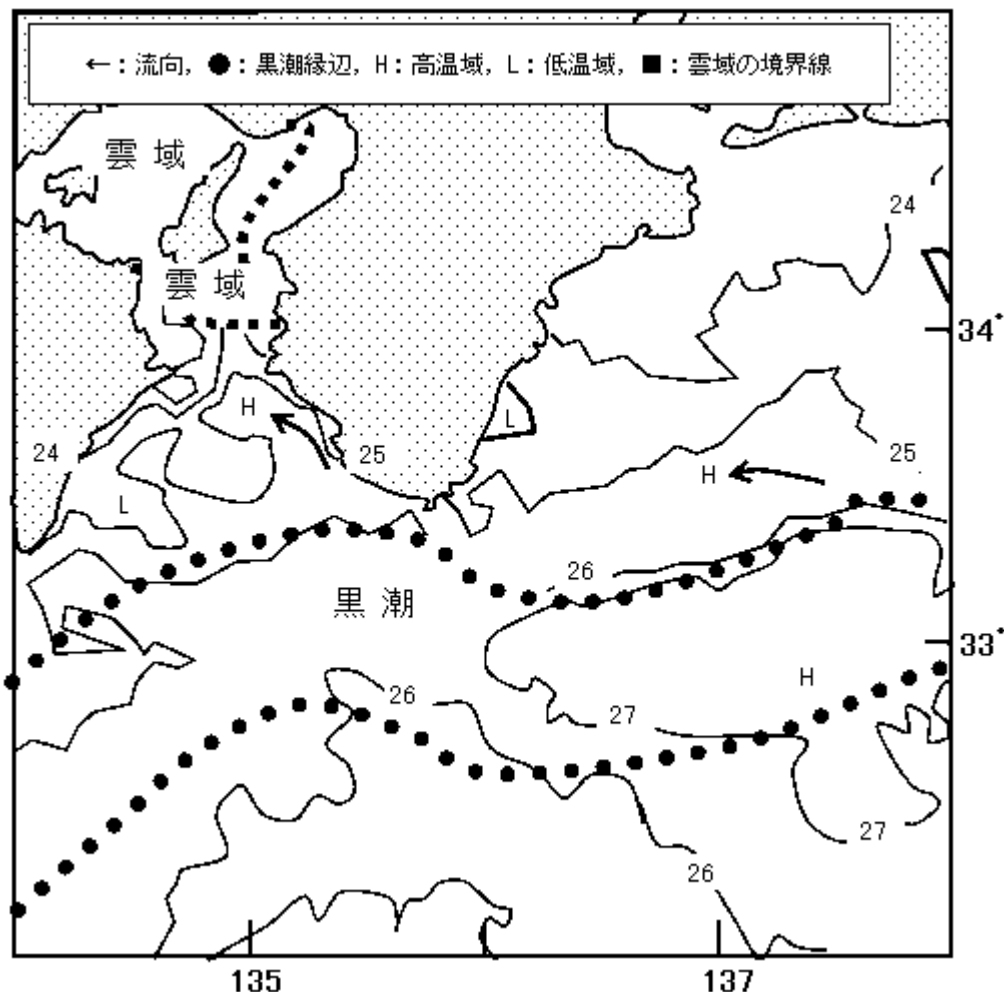


1. 海況の経過



上に三重県科学技術支援センター水産研究部が7月17日に発行した人工衛星海況速報を示した。黒潮は室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。現在、室戸岬沖～潮岬沖の黒潮は離接岸を繰り返している。表面水温は播磨灘と紀伊水道内部が雲のため不明である。紀伊水道入り口付近は23～24℃の様様。外域は22～25℃である。潮岬沖で黒潮が接岸しているため、和歌山県側から25℃台の暖水が紀伊水道外域に流入している。また、徳島県側で紀伊水道から内海系水が南下し海部沿岸を覆っている。

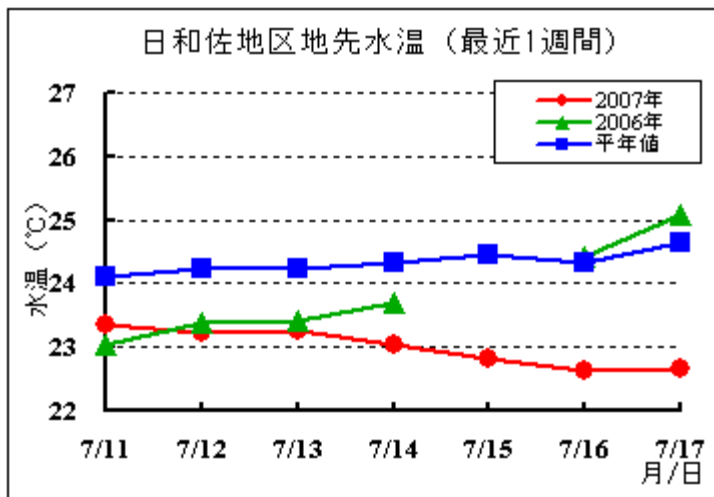
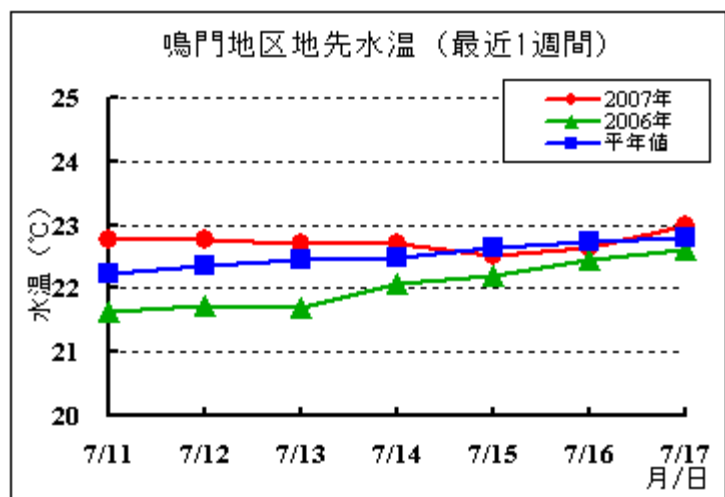
漁業調査船「とくしま」が7月9日に行った播磨灘海区の海洋観測結果では、水温は表層が「やや高め」の23.7℃、10m層が「高め」の22.7℃、20m層が「やや高め」の22.0℃、30m層が「高め」の21.2℃であった。

播磨灘海区観測結果 (観測日 2007/7/9)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	23.7	22.7	22.0	21.2	今年値	32.6	32.7	32.7	32.7
平年偏差	0.7	1.5	1.4	1.5	平年偏差	1.0	0.8	0.7	0.6
前年偏差	0.1	1.3	0.9	1.1	前年偏差	1.1	1.1	1.1	1.0

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の22.5～23.0℃で、日和佐地区が「低め」～「やや低め」の22.6～23.4℃で、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の22.7～23.5℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

先週後半に徳島県に接近した台風4号の影響で、ほとんど出漁がみられなかった。

**小型定置網:**海部沿岸で、マメ主体にマアジが0.2トン(1日1隻あたり35kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、ヨコワが0.5トン(同7kg)、マルソウダが0.2トン(同5kg)、大主体にイサキが0.1トン(同7kg)、紀伊水道でタチウオが0.9トン(同24kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが99.0トン(同1トン)水揚げされ、好調な水揚げが続いている。

**底曳き網:**台風4号の波浪の影響により巣穴から出てきたハモが7月17日にまとまって漁獲され、豊漁を呈した。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)7月9日～7月15日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻あたり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網		マアジ	5	177	35	マメ主体
釣り	海部沿岸	ヨコワ	76	526	7	
		マルソウダ	42	224	5	
		イサキ	14	99	7	大主体
	紀伊水道	タチウオ	38	924	24	
パッチ網		シラス	99	99,000	1,000	

### 週間予報:

現在室戸岬沖～潮岬沖の黒潮は離接岸を繰り返しているため、やや離岸～接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「**平年並み**」の23～24℃、日和佐地先で「**やや低め**」の23～24℃で推移する見込み。

### 他県情報:

和歌山県の釣りでスルメイカが3.7トン(1日1隻あたり23kg)、イサキが4.8トン(同29kg)、パッチ網でシラスが1.0トン(同47kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが1.2トン、ウルメイワシが3.1トン、オアカムロが5.2トン水揚げされた。

### \*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上